

光るダミーボタン

タイプ [C]



取扱説明書

2025年6月5日



〒780-0991 高知県高知市宗安寺 591-1

電話：(088) 843-1601 携帯：090-3041-6033

WebSite: <https://shikokudenshokukogei.jp/> E-Mail: info@shikokudenshokukogei.jp

ご利用のお客様へ（必ずお読みください）

弊社の機材レンタルサービスは、この取扱説明書を読み注意・約束を守ってご利用頂ける方を対象にしております。多機能なマシンを利用するには多少の知識が必要です。この説明書には初めての方でも、簡単に利用できるように例を示して書いておりますので最後まで目を通してからご利用ください。

まず機材を受け取られましたら、**同梱の「機材チェックシート」**を用いて、機材の**数量、状態を確認**してからご利用ください。また、**利用後も同様に確認**したのちにご発送ください。**不具合や破損などを確認した場合は、その旨をお知らせください。**

精密機械なので、落したり、乱暴に扱うと故障します。また、取扱説明書（以下、本書）の手順にない使い方をすると、予期せぬ不具合も起こり得ます。更に、本書と異なる使い方トラブルが発生した場合はサポートにも限界がありますし、常時サポート可能な体制も取っていないので、急なご連絡では対応を致しかねます。そこで事前に余裕を持ってテストして頂き、本書通りの操作で機械の取り扱いに慣れておいてください。

<注意事項>

- ◆ 本書の一部または全部を無断転載することは禁じています。
- ◆ 本製品は機能追加、並びに品質向上のため、予告なく仕様変更する場合があります。継続的にご利用いただく場合でも、必ず本書の最新版をお読みください。
- ◆ 本書につきましては万全を期していますが、万一ご不明な点や誤り、内容の記載漏れなどお気づきの点がございましたら、弊社までご一報ください。
- ◆ 弊社では、本書の内容に従った利用で起こり得る様々なケースを想定して、事前確認を行っています。また、商品発送前にも機器の動作確認をし、お客様のお手元に商品が届いた後のテスト中に不具合があった場合に備え、商品の交換体制もできるかぎり整えています（但し近県のみ）。そのため、本製品の運用を理由とする損失、逸失利益などの請求につきましては、如何なる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。同様に、本製品の故障などにより人身事故・火災事故・社会的損失などが生じて、弊社に如何なる責任も負いかねます。

はじめに

この度は弊社の「光るダミーボタン タイプ C」をご利用いただき、誠にありがとうございます。製品の性能をフルに活用していただく為にも、必ず最後までこの取扱説明書（以下、本書）をお読みください。

■安全にご利用いただくために！

配線に足を引っ掛けて転ぶことが無いように、人の動きを予測して配線ルートの工夫やテープ（養生テープ）などを使って固定してください。ただし、紙テープ（クラフトテープ）の使用は粘着剤で汚くなるので使用しないでください。

テレビ番組のようにスムーズな進行を行うためには、機器の機能を十分に理解して、司会者を含めリハーサルを行い本番のイメージをすることが大切です。特に参加者は思いもかけない行動をとるのでスタッフは事前の説明だけでなく本番中も注意を払ってください。

<使用上のご注意>

- 取扱説明書（以下、本書）に従い、正しくやさしく操作してください。
- 本書を読まずに、安易に弊社に電話で問い合わせるのはお控えください。
- 機能を理解しないで操作すると、想定外の事態に慌てるとイベントを台無しにし兼ねません。基本に則り、本書をご一読ください。
- 商品は精密機械ゆえ、落とせば故障します。乱暴に取り扱わないでください。
- 本書の手順にない接続をすると、故障の原因になることもあります。
- 本機は防水・防滴仕様ではありません。屋外や水濡れの可能性がある場所では、対策を施してください。
- 本機は、精密な電子部品を多数実装しています。本機の移動および運搬時には、衝撃が加わらないように注意して下さい。
- 本機の設置場所は、直射日光の当たる場所や高温になりやすい場所を避け、なるべく日陰で通気性の良い場所でご使用ください。やむを得ず使用する場合は、熱反射シート等を利用して対策してください。
- 定格電圧は、AC100V、50/60Hz です。
- 電圧の安定しない発電機でのご利用はお控えください。
- 電源の詳細は、「大切な電源について」の項を参考にしてください。
- 電源コードは、機材への挟み込みやなど無理な力が加わらないよう、また発熱体への接触などにご注意ください。
- 異常音や臭いが発生した際はすぐに利用を中止し、電源コードをコンセントから抜いて、至急弊社にご連絡ください。
- 長時間利用しない場合は、電源を切り、電源コードもコンセントから抜いてください。
- 故障と感電事故を防止や、性能を維持するためにも、絶対にケースを開けて内部に触れたりしないでください。修理・改良が必要なときには、事前に弊社に許可を得てください。

大切な電源について

- 電源には家庭等で使われる「一般電源」をはじめ、会館など施設の照明電源として用いている「調光電源」のほか、祭りなど仮設会場で使われる「発電機による電源」など、いくつかの種類があります。
- 「一般電源」以外にも、調節により 100V、50Hz/ 60Hz を供給することができます。ただし、タコ足配線や長いコードで接続すると本来の電圧が得られなくなり、機器が正常に動作しない場合や、配線の発熱に至る場合があります。
- 電線には抵抗があるので、負荷（機器）を接続して電流を流すと電圧を降下が生じます。実際の電圧は、負荷を接続した状態で測る必要があります。テスターでコンセントの電圧を測定し 100V（無負荷電圧）を示していても、電球を点灯させたりすると、電線の抵抗により機器側では電圧は降下します。それを防ぐには、流す電流は少なくして短く太く、更に接続箇所を少なくする必要があります。
- 例えば、イベント等で電気ドラム（コード 30m）を 3 本直列につないで 90mにし、機器を接続してみた ら動作しない場合です。負荷（消費電力）が小さい機器なら、殆ど問題はありません。しかしホットプレートなど、消費電力が大きい機器と一緒に使用すると、元が 100V であっても 90m離れた場所では 80V 以下となることがあります。30m の電気ドラムを 3 本つないだ場合も同様になると考えられ、目的の機器 を正常に利用できる保障はありません。



- 特に古い発電機の中には電圧変動が大きなものや、ノイズが加わり正常の動作しない場合もあります。
- 会館の壁のコンセントは「一般電源」ですが、照明を明暗させるための調光電源では、100%フルで送っても波形が乱れた電源（電圧が変動する電源）しか供給できないものもあります。壁から直接とる電源ではない場合は、念のため会館職員に「パソコンなどを使っても大丈夫か？」と確認を取ってから利用することをお勧めします。
- 以上のように、電子機器には正しい電気を送るよう、細心の注意が求められます。

機材の特徴

- ✚ オープニング式典等にご利用いただけます。
- ✚ BIG サイズ
- ✚ ボタンの色を2色（赤・青）からお選びいただけます。
- ✚ AC アタブタの他にアルカリ電池（単三 8 本）での運用も可能です。
- ✚ 点灯パターンは 11 種類から 1 種類を選択
- ✚ 点灯パターンの変更は底面の押しボタンスイッチで行います。
- ✚ 複数の点灯パターンを自動的に変えることは出来ない。
- ✚ 点灯パターンは電源を切っても記憶しています。



点灯パターン動画 (YouTube) <https://www.youtube.com/watch?v=e37t3khGZGY>



機材の紫外線・熱対策



【重要】

本機は素材の性質上、炎天下等でご利用の際は可能な限り紫外線や高熱にさらされない様ご配慮ください。

- 機材と一緒にお届けする「ダークグレー布 1.5m×1m」は、防水・UV カット仕様のナイロン製シートです。設置後にボタンの目隠しとしてもご利用いただけます。
- 屋外で短時間の雨に遭遇した場合は、防水カバーとして、また短時間の日除けカバーとしてご利用頂けます。
- 使用後は必ずご返却ください。

機材の内訳（基本）



品 名	画 像	数 量
●本体		1 台
●AC アタブタ（12V2A）		1 台

- ・ 本体のサイズ
 - ・ 最大寸法：縦 34cm 横 28cm 高さ 27cm
 - ・ 単三アルカリ電池 8 本 または、DC12V((2A)
- ・ 電池はお客様側でご用意ください

点灯パターンの設定方法



点灯パターン設定押しボタン

点灯させた状態で点灯パターン設定ボタンを押してください

- ✚ パターンは停止（全点灯）を含めて 11 種類
- ✚ パターンは電源を OFF にしても記憶しています
- ✚ ボタンを押すたびにパターン (1) → (2) . . . (11) → (1) . . .
- ✚ ※パターンの初期値は現在の点灯パターンとなります。

操作方法



左上：RESET（リセット）押しボタン

左下：DC12V ジャック AC アタブタ利用時に電源を供給します

中央：未接続（キャノンオス 3P）

右上：動作表示LED

消灯：電源OFF

赤点灯：ボタン内のLED点灯

緑点灯：スタンバイ

操作スイッチ

- ・ 上側を押すと（一）：ON
- ・ 中立（〇）：OFF
- ・ 下側を押すと（二）：SW

右下：操作スイッチ（**注意：センターOFFスイッチ**）

（一）：ON ボタンの操作に関係なくボタン内のLEDを点灯させます。

（〇）：OFF 電源がOFFの状態

（二）：SW ボタン操作を待ち受ける状態（スタンバイ）

▼パターンの変更やテスト、ボタン操作に関係なく点灯させる方法

- （一）：ON ボタン内のLEDに電源が供給され点灯します。

▼ボタンを押して点灯される方法

- （二）：SWでスタンバイ（緑色点灯）、ボタンが押されるとボタン内のLEDが点灯します。
- ボタンが押されると緑色LEDが赤色に変わります。

▼消灯させる方法

- 操作スイッチを（○）OFFにすると消灯します。電源が切られるのと同じ
- 操作スイッチ（二）：SW（スタンバイ）において、ボタン操作で点灯したLEDを消すにはリセットボタンを押します。点灯から消灯へ移行し、スタンバイ状態に戻りますので、ボタンを押すと再度点灯します。
- AC アタブタ使用時は電源を抜くことでも消灯となります。但し電池を抜いておくこと

下記動作についてご了承ください。

- 動くパターンを複数の個体に設定した場合でも、個体間はリンクしていないため光は同期しません。

動作のまとめ

- スタンバイ中（緑点灯）にボタンを押すとLEDユニットに電源が供給され点灯します。ボタンから手を放しても点灯状態を維持します。
- 点灯中にAC アタブタの電源を切るとLEDは消灯、再び電源を接続すると「スタンバイ」の状態を保持します。
- スタンバイの状態を保持したままでLEDを消灯させたいときは「RESET」ボタンを押します。



スタンバイ中（緑色LED点灯）



ボタン内のLED点灯中（赤色LED点灯）

電池の取付・交換方法



【重要】アクリルドームの損傷防止のために
アクリルドームを養生するか
本体を横向きにして電池の交換を行ってください



本体裏面



カバーを取り除いた状態

本体裏面の電池カバーを開け、極性（向き）に注意、交換後は蓋をする。

- (1) 電池は単三アルカリ 8 本
- (2) 古いものを混ぜずに全て新しい電池をご使用ください。
- (3) 新品電池（全灯）：3700LX、90 分後 2300LX、120 分後 2000LX、150 分後 1100LX
180 分後：500LX ドームから 1 cmの距離で測定 目安としてください。

ワンポイント！

複数の個体を一括してLEDを点灯させたい

AC アタブタを使用して、操作スイッチを（一）：ONの状態を確認し、AC アタブタを接続している電源コード（AC100V）を抜く。差し込むと同時に点灯する。

その他

操作スイッチが（〇）以外では

スタンバイ時も電池は消耗おりますのでご注意ください。

使用しないときは必ず（0）：OFF の位置に

AC アタブタを使用する場合のみ

式典ボタン内にある LED ランプ が点灯します



本体側面のデザインは

スイッチ類が付いている面以外にコネクタなどはありません

本体の式典ボタンの色は

赤と青の二色からお選びいただけます。(交換して出荷)



本体を設置する向きに制限は

動く光は式典スイッチ面からスタートします

こだわりが無ければどの向きに設置しても問題はありません

水にぬれても大丈夫ですか

防滴・防水仕様ではありません。濡れない場所でご利用ください

写真



